

# 長崎まちづくりのグランドデザイン

## 第三回 検討委員会

- まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案)
- まちづくりの方針(案)とまちづくりの取組みの方向性(たたき台)

令和7年2月18日  
長崎市まちづくり部

## 【第1部】

- 1 第2回検討委員会の振り返り
- 2 グランドデザインのアウトプット(イメージ)
- 3 長崎市重点プロジェクトアクションプランとの関係性

## 【第2部】

- 4 まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案)
- 5 まちづくりの方針(案)
- 6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)
- 7 今後のスケジュール



# 本日の議事(補足)

3

令和6年7月26日

## 第1回委員会

### <主な議題>

- グランドデザインの概要
- 検討の進め方

令和6年11月22日

## 第2回委員会

### <主な議題>

- 目指すまちの状態  
(※たたき台)
- 長崎市の現状(※人流データ除く)
- 取り組みの考え方、課題  
(※たたき台)

令和7年2月18日(本日)

## 第3回委員会

### <主な議題>

- まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案)
- まちづくりの方針(案)
- まちづくりの取り組みの方向性(たたき台)

### 【意見交換会】

- 地域(中央、東部、北部、南部)、若い世代・女性との意見交換会を実施
- ワークショップ形式で、将来どのようなまちになってほしいか、そのためにどのような取り組みが必要かなどについて議論

### 【ホームページでの意見募集】

- 将来どのようなまちになってほしいかなどについて意見募集



## 【第1部】

### 1 第2回検討委員会の振り返り

- (1) 目指すまちの状態(たたき台)
- (2) 目指すまちの状態に向けた取組みの考え方(たたき台)
- (3) 目指すまちの状態に向けた課題(たたき台)
- (4) 主なご意見 (5) 本日の審議内容

### 2 グランドデザインのアウットプット(イメージ)

### 3 長崎市重点プロジェクトアクションプランとの関係性

## 【第2部】

### 4 まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案)

### 5 まちづくりの方針(案)

### 6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)

### 7 今後のスケジュール

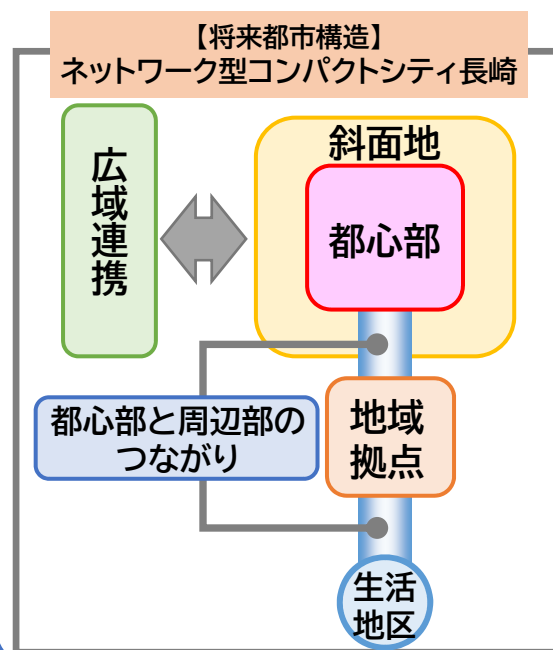
## (1) 目指すまちの状態(たたき台)

### <経済再生・定住人口増加に向けたまちづくりの考え方>

訪れたくなる、回遊・滞在したくなる、住みたくなるまちとなるよう、まちの価値や暮らしやすさ高めるとともに、誰もがその価値や暮らしやすさ、効果を楽しむことができるよう、ネットワークを強化すること。

### <目指すまちの状態>

多様な魅力が多くの人・企業をひきつけ、長崎独自の暮らし方や過ごし方(ライフスタイル・ビジネススタイル)を選択できる



- まちなか・海・山・斜面地暮らしなど、思い思いにライフスタイルを選ぶことができる
- 歴史・文化や国際性、スポーツなど、長崎独自の多様な魅力があり、様々な人々が訪れ、交流できる
- 天然のコンパクトシティと称され、多様な魅力や都市機能がコンパクトに集まり、各拠点がネットワークでつながり、どこに住んでも、これらを楽しむことができる

## (2) 目指すまちの状態に向けた取組みの考え方(たたき台)

### <目指すまちの状態>

多様な魅力が多くの人・企業をひきつけ、長崎独自の暮らし方や過ごし方(ライフスタイル・ビジネススタイル)を選択できる

### <取組みの考え方>

- 各エリアの魅力や価値を高めていくこと

長崎らしい暮らしやすさや賑わい・活力を維持していくため、各エリアの魅力や価値を生み出し、高めていく

- 仕組みづくりや規制緩和により、民間活力や既存ストックを最大限活用すること

100年の一度のまちづくりにより出来上がった基盤を最大限活かす仕組みや土地利用の規制緩和などにより、民間の活力を最大限引き出していく



## 1 第2回検討委員会の振り返り

7

### (3) 目指すまちの状態に向けた課題(たたき台)

- 歴史・文化や国際性、スポーツなど長崎独自の魅力や地域資源等を新たな魅力・産業につなげるなど、人、企業、投資を呼び込む価値の創造
- 生活サービス施設や公共交通の運行便数の減少が進む中における、地区ごとに合った暮らしやすさの確保
- 公共空間や空き地・空き家等の既存ストック活用による多様なライフスタイルの実現や産業・交流の活性化
- 道路等の基盤整備や近隣市町の産業立地動向等を踏まえた居住・産業機能を増進する土地利用の活性化
- 多様な主体の緊密な連携による、エリアマネジメントやまちづくり活動を担う人材の発掘・育成など、まちの課題解決に向けた仕組み(人・組織)の構築



## (4) 主なご意見

### 「目指すまちの状態」に関するご意見

- 「長崎らしさ」を意識しつつ議論することが大事
- 各エリアの骨格となるポテンシャルを引き出し、ポテンシャルを活かした場所づくりができるとうい

### 「目指すまちの状態に向けた取組みの考え方」に関するご意見

- 人にやさしいまちづくりの視点を持ちつつ検討してほしい

### 「目指すまちの状態に向けた課題」に関するご意見

- 全国共通課題に対して、長崎のまちが本来持っている体質や風土にどう切り込んでいくかが大事である



## (4) 主なご意見

### 「目指すまちの状態に向けた課題」に関するご意見

- チャレンジする人を応援するまちであると、戻りたいという気持ちが生まれるのではないか
- 戦略的に若い人・チャレンジする人を集め、地元企業や人との交流の場を仕掛けることで、まちが魅力的になり活性化していくのではないか
- 長崎の観光は、生活文化と密接に繋がっていることが特徴で、暮らしと観光の間にはクリエイティブなどがはまりやすい
- 出会いを意図的に生み出すことが重要
- 出会いを生み出すために、いかに人の回遊を生み出すか
- 様々な用途を掛け合わせた場とすることで、多く人が集まり、住み良いまちになるのではないか
- 子育て世代がゆっくり過ごせる居場所や徒歩圏内に大きな公園、中高生の遊び場、楽しみながら歩ける環境があると良い



## (4) 主なご意見

### 経済再生について

- 経済再生の一番のキーワードは「観光」
- 気候変動対応に加え、猛暑の中でもまちなかの経済活動が止まらないよう、グリーンインフラを積極的に増やす試みを考えてはどうか

### 計画策定後の進め方について

- 軌道修正しながら取組みを進めていく必要があるため、公・民・学でデータに基づく評価を入れながら進めてはどうか

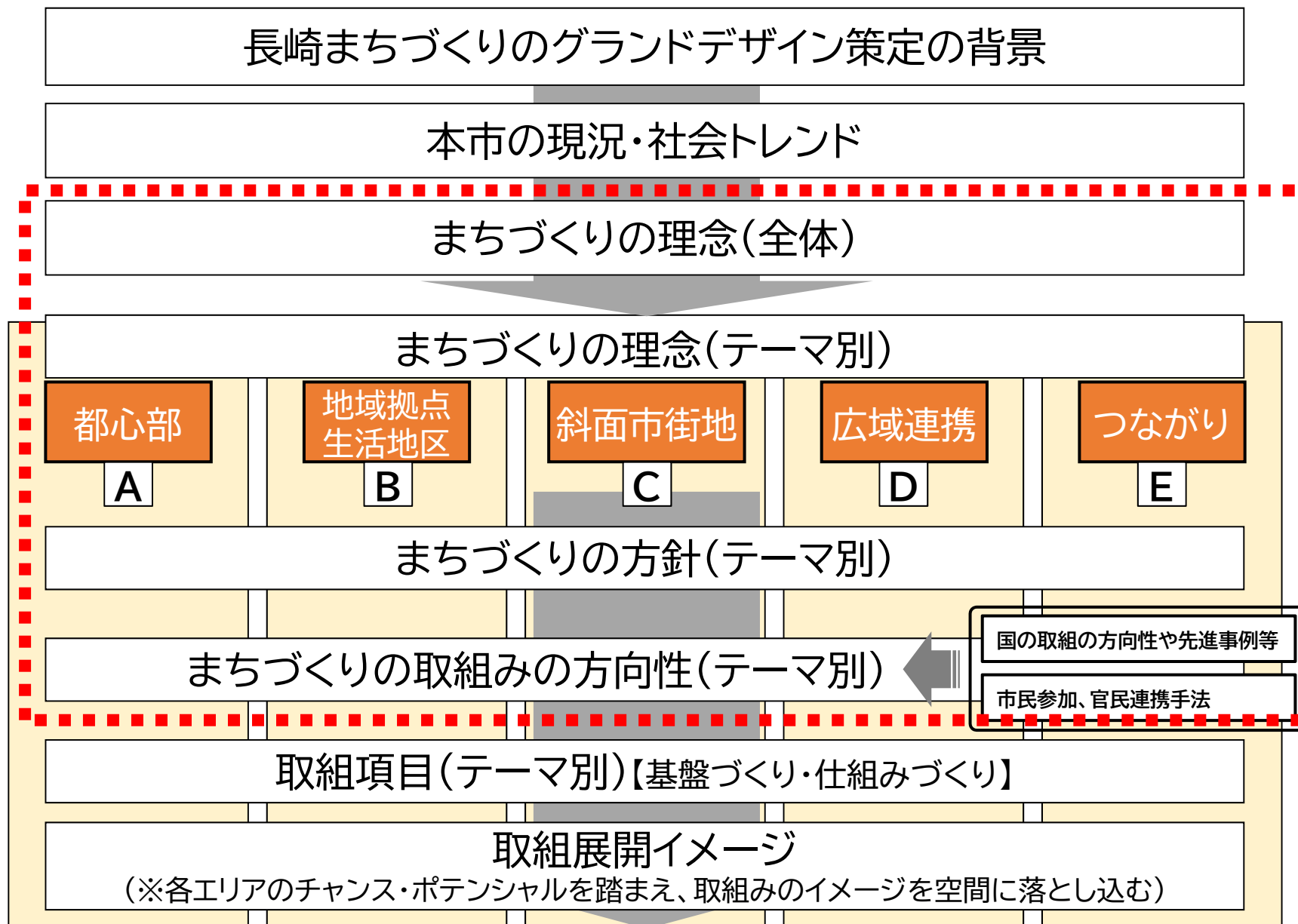
### 周辺地区について

- 次回は、地域拠点や生活地区といった周辺地区の議論が必要

### ランドデザインのアウトプットのイメージについて

- テーマが経済再生・定住人口増加と大きく、どの程度の課題に対して解決しようとしているのか
- どのくらいの抽象度で議論すればよいか判断が難しく、アウトプットのイメージが付きづらい

## (5) 本日の審議内容



## 【第1部】

1 第2回検討委員会の振り返り

2 グランドデザインのアウットプット(イメージ)

(1) グランドデザインの目的

(2) 検討の枠組み

(3) グランドデザインの目次構成【再掲】

(4) 全体イメージ (5) 取組展開のイメージ(案)

3 長崎市重点プロジェクトアクションプランとの関係性

## 【第2部】

4 まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案)

5 まちづくりの方針(案)

6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)

7 今後のスケジュール



## 2 グランドデザインのアウトプット(イメージ)

13

### (1) グランドデザインの目的

#### 背景

- 人口減少対策は喫緊の課題であり、経済再生・少子化対策・新市役所創造プロジェクトに取り組んでいるなか、まちづくりの分野からも、経済再生と定住促進を後押しする取り組みが必要である。
- そのうえでは、100年に一度のまちづくりにより生まれた新たなまちの基盤のポテンシャルを最大限に活用し、新たな魅力とこれまで培ってきた魅力の融合による新たな価値の創出が重要。
- 併せて、これらの取り組みを強力に推進するためには、官民がベクトルを合わせて取り組みを進めることが重要。

### 長崎まちづくりのグランドデザイン

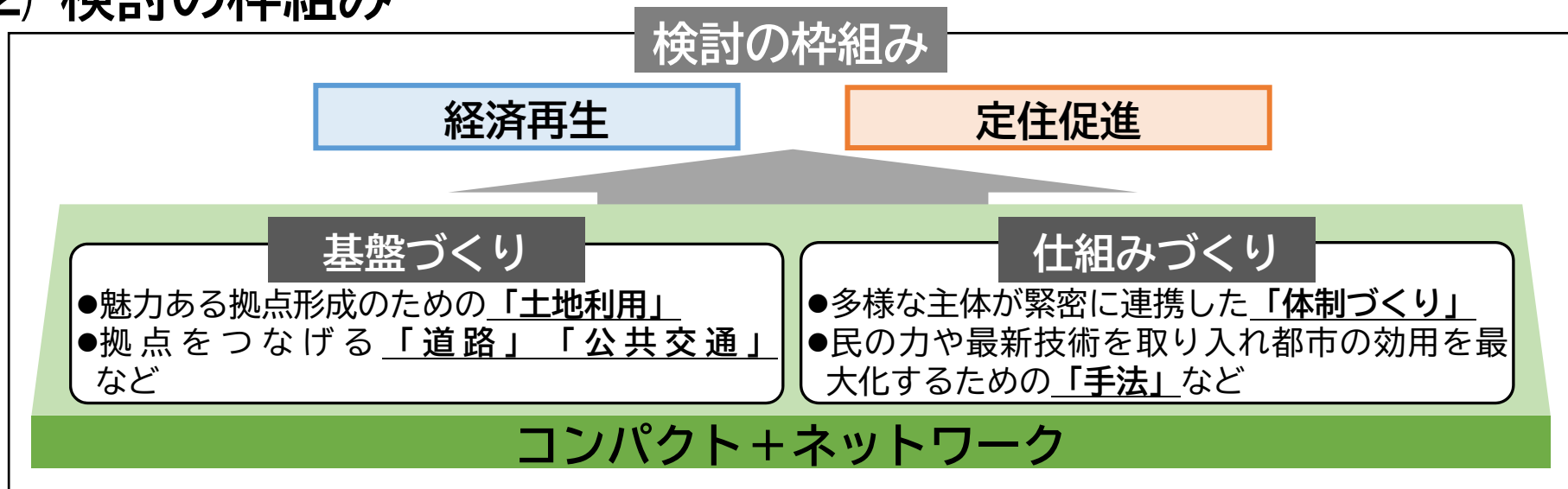
#### 位置づけ

経済再生・定住促進をまちづくり分野（まちの基盤とそれを活かす仕組み）から後押しするため、経済再生・定住促進に特化した長期的なまちづくりの方向性を示し、多様な関係者が取り組みのベクトルを合わせるための羅針盤となるもの

#### 役割

- 経済再生・定住促進につながるまちづくりの方向性を、体系的に整理し、かつ、空間に落とし込むなど、わかりやすい形で多様な関係者と共有する
- 基盤・仕組みづくりや民間投資の喚起など、経済再生・定住促進を官民が連携しながら強力に推進する

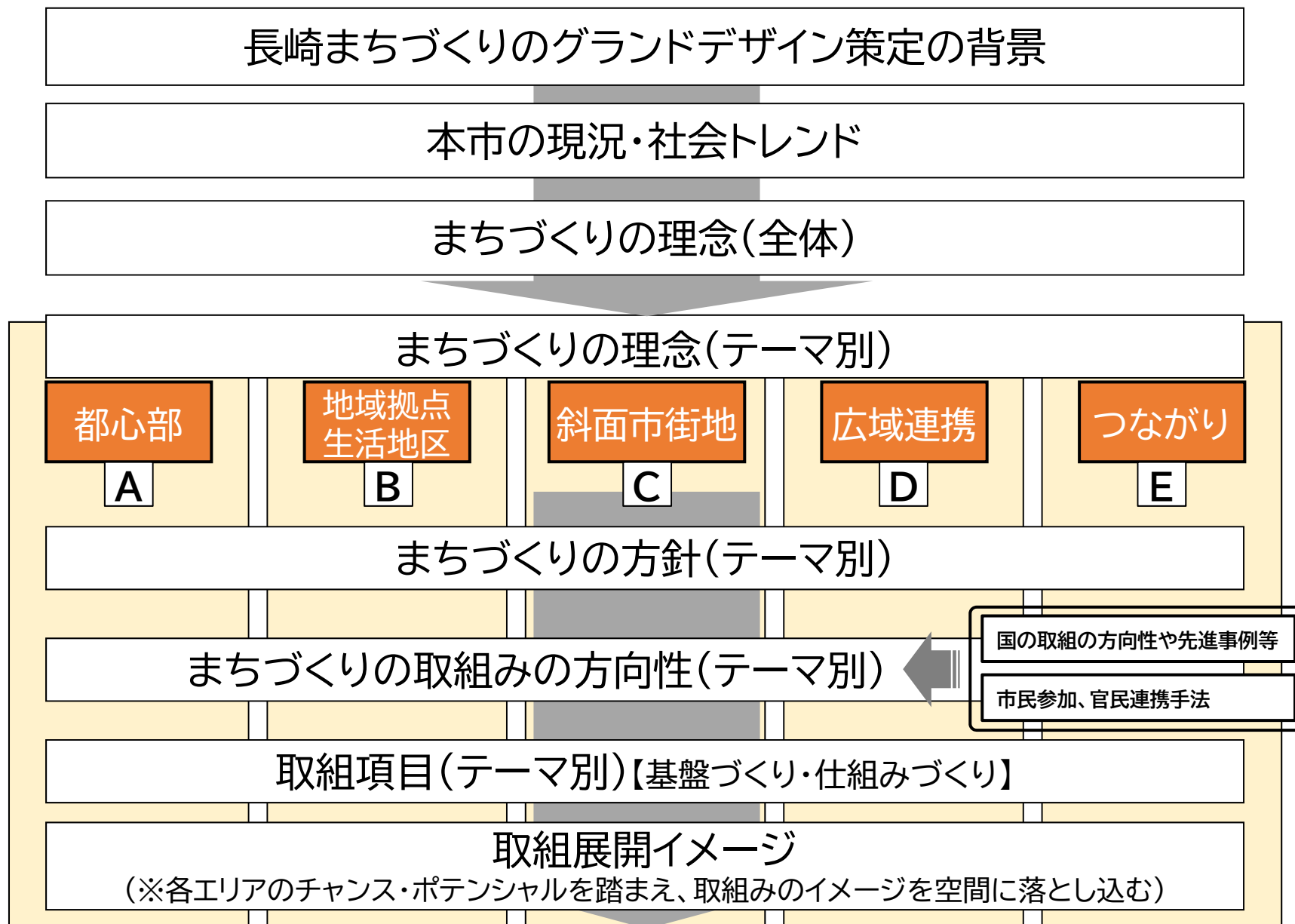
### (2) 検討の枠組み



#### 【参考】長崎都心まちづくり構想

(1) 基盤づくり		(2) 仕組みづくり	
ア 回遊性の向上		エ 都市基盤を活用する体制づくり	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歩行者動線の整備・明確化</li> <li>● 公共交通等による回遊性の向上</li> <li>● 広域ネットワークとの接続強化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● プレイヤーが生まれ活動しやすい仕組みづくり</li> <li>● 産学官の緊密な連携</li> </ul>	
イ 回遊目的の創造		 <p>学生主体の跡地活用検討及び跡地整備（出典：長崎市）</p> <p>利用者の中心の運営体制（出典：国土交通省HP）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長崎特有の魅力の目的地化</li> <li>● 公共的空間の目的地化</li> </ul>		オ 先進的なまちづくり施策の意欲的な展開	
<p style="text-align: center;">歴史的建造物等の活用 (出典：長崎居留地歴まちグランドデザイン)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 回遊性向上等に寄与する最新技術の積極的な活用</li> <li>● 先進手法が当たり前となる仕組みづくり</li> </ul>	
ウ 多様で柔軟な活用ができる土地利用への転換		 <p>銅座川プロムナードの社会実験（出典：長崎市）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 賑わいと活力の創出に向けた土地利用</li> <li>● 魅力的で安全安心なまち</li> <li>● フレキシブルな土地利用</li> </ul>			

### (3) グランドデザインの目次構成【再掲】







修正有

## 2 グランドデザインのアウトプット(イメージ)

16

### (4) 全体イメージ

#### まちづくりのグランドデザイン

※社会情勢の変化等を踏まえながら、  
おおよそ中間年(2040年)を目途に見直し(予定)

方針  
(見直し時期まで不変)

行動指針  
(外部環境の変化に応じて、適宜見直し)

実行フェーズ

まちづくりの理念	まちづくりの方針	取組みの方向性	取組項目		取組展開イメージ(案)
			基盤	仕組み	
A	I	① ② ③	・	・	<p>ポテンシャル図 (将来の長崎市の変化やポテンシャルを空間に示す)</p> <p>↓</p> <p>展開イメージ図 (ポテンシャル図を踏まえ、各テーマ、エリアにおいて想定される取組みの展開イメージを空間に示す)</p>
	II	① ② ③	・	・	
	III	① ② ③	・	・	

様々な主体がまちづくりのベクトルを合わせながら取組みを推進していく。



## 2 グランドデザインのアウトプット(イメージ)

17

### (4) 全体イメージ((例)都心部)

#### A 都心部

#### まちづくりの理念

人、企業、投資を呼び込む求心力の核となるエリアづくり

まちづくりの方針	まちづくりの取組みの方向性	取組項目	
		基盤づくり (土地利用・道路・公共交通)	仕組みづくり (体制・手法)
人、企業、投資を呼び込む価値の創造	①エリア価値創造拠点の確保	●遊休不動産等を活用した価値創造拠点の整備	
	②公共空間等を活用したエリア価値創造の取組推進	●公共空間等の柔軟な活用に向けた規制緩和	●公共空間等の利活用を促進する中間支援組織設置
人中心の歩いて楽しい都市空間	①人中心の安全・安心・快適な道路空間の創出	●ほこみち、ウォーカブル区域指定	●歩行者利便増進道路制度（ほこみち）、まちなかウォーカブル区域の指定
	②回遊の支援		●新たなモビリティサービスの導入
	③回遊動線と連携した沿道空間の魅力向上	●地区計画制度の活用	
交流の創出や多様な活動の実現	①交流創出や多様な活動を実現する場の確保	●公共空間等の多目的な活用	●公共空間等の利活用を促進する中間支援組織設置
	②民有地のオープンスペース等と連携した賑わい向上	●地区計画制度の活用	

#### 取組展開イメージ

#### <都心部>

公共施設跡地等の活用

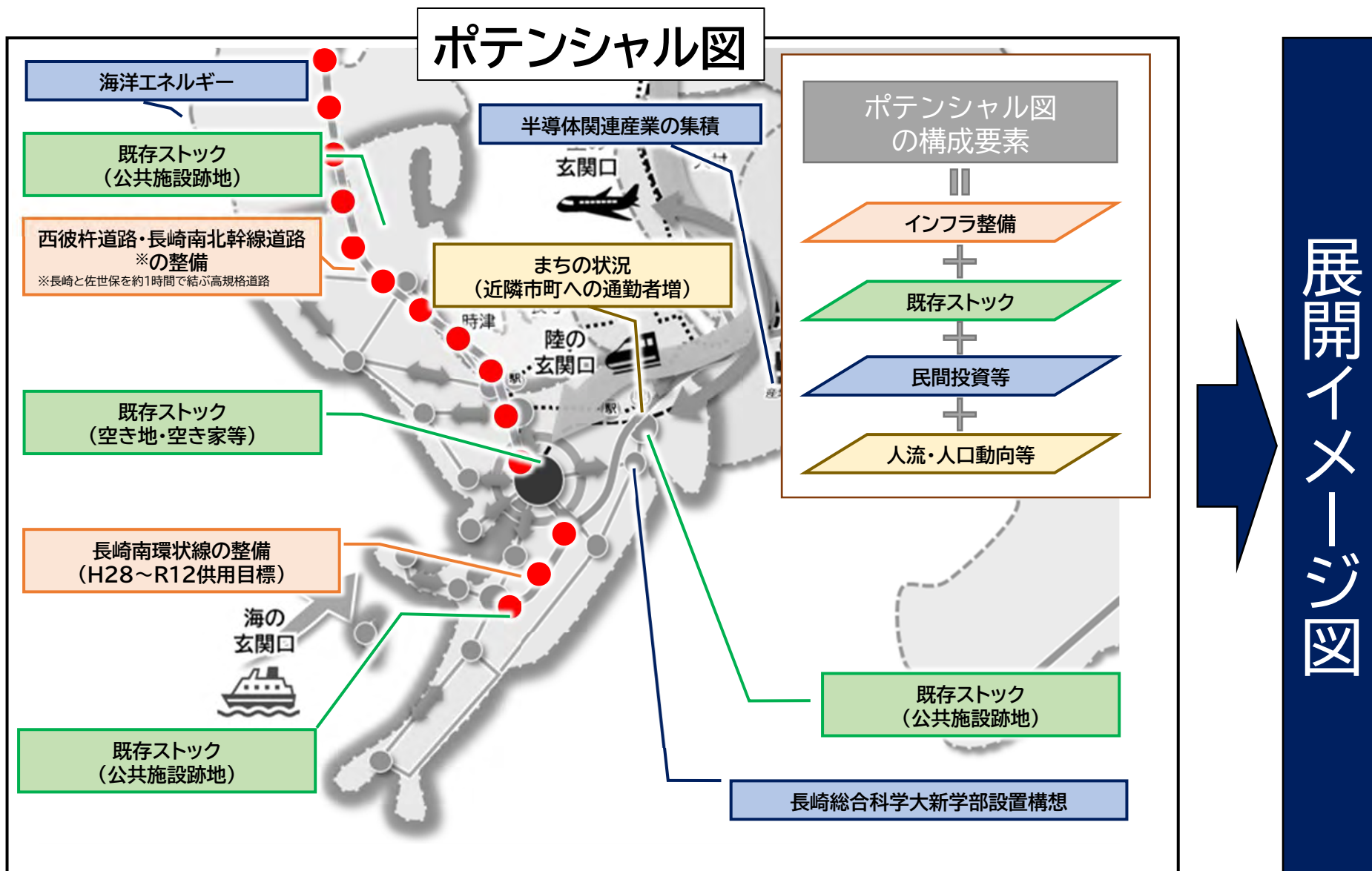
居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成

新たなモビリティサービスの利用環境整備

公園・広場等の民間活力の導入

公民学の連携体制の構築

### (5) 取組展開のイメージ(案)



## 【第1部】

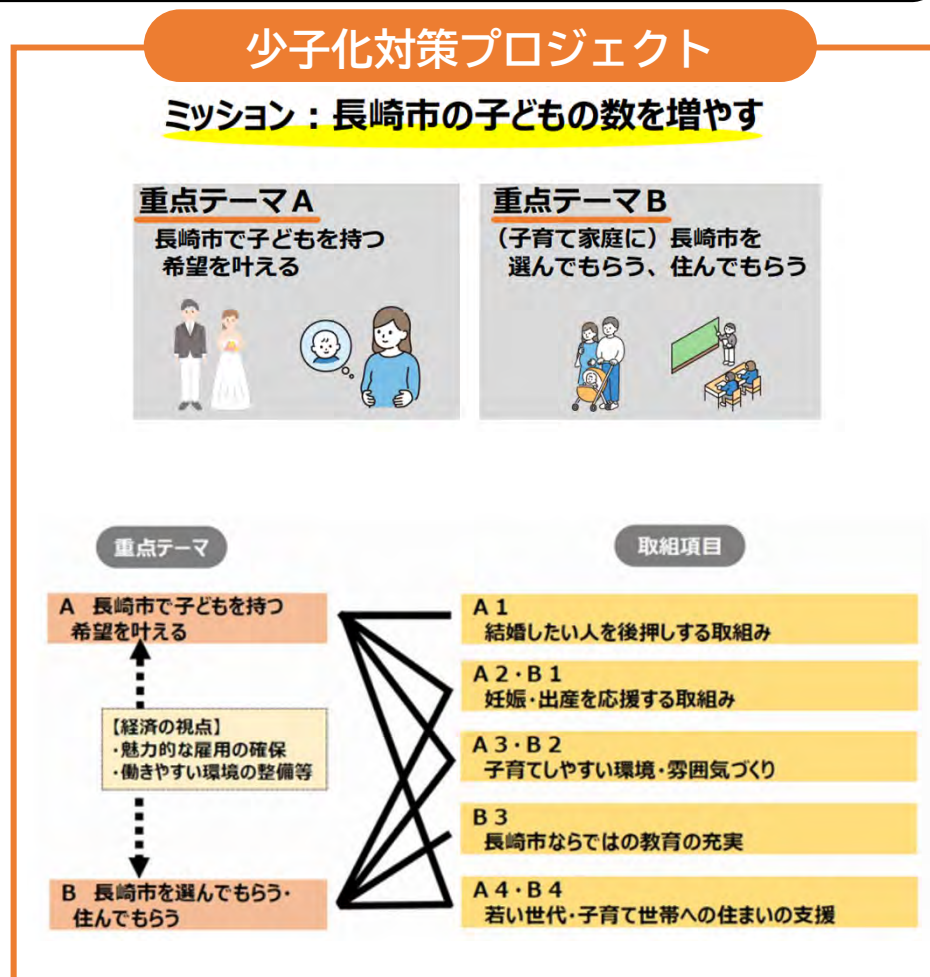
- 1 第2回検討委員会の振り返り
- 2 グランドデザインのアウットプット(イメージ)
- 3 長崎市重点プロジェクトアクションプランとの関係性
  - (1) 長崎市重点プロジェクトアクションプランの概要
  - (2) グランドデザインとアクションプランの関係性

## 【第2部】

- 4 まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案)
- 5 まちづくりの方針(案)
- 6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)
- 7 今後のスケジュール

## (1) 長崎市重点プロジェクトアクションプランの概要

- 人口減少対策の中でも、特に「経済再生」と「少子化対策」の分野に注力
- 戦略的な取組みを展開するため、「長崎市重点プロジェクトアクションプラン」を策定



## 経済再生プロジェクト（抜粋）

重点テーマ	取組項目	取組方針	取組内容
A 交流拡大	A 1 受入態勢の充実	ワーケーションの受入拡大	海外 <u>リモートワーカー受入態勢の整備</u>
	A 2 高付加価値化による消費単価の向上	付加価値の高いコンテンツの造成	宿泊、飲食、交通等の多様な関係者と連携した <u>滞在モデルプランの造成</u>
B 地場産業支援	B 1 交流拡大を捉えた稼ぐ力の向上	交流人口の回遊につながる仕掛けづくり	拡大する交流人口を商店街等へ誘客するための <u>回遊性向上支援</u>
	B 2 人手不足対策	必要な人材の確保・育成	<u>移住（二地域居住を含む）支援</u> の充実
C 新たな産業の創出	C 1 イノベーションを牽引するプロジェクト・スタートアップ創出	官民連携・新規事業プロジェクト創出	官民連携による <u>新規事業を創出する仕組みの構築・運用</u>
		イノベーション・グローバル人材育成	公共空間利活用を支援する仕組みづくりとまちに賑わいと活力を生み出す <u>プレイヤーの育成</u>
		スタートアップエコシステム強化	学生とスタートアップ起業家やグローバルに活躍する企業人との <u>交流機会の創出</u>
	C 2 成長分野の強化	成長産業の誘致	<u>企業誘致</u> （デジタル、環境、海洋・ものづくり、生命科学、交流など）の <u>推進</u>

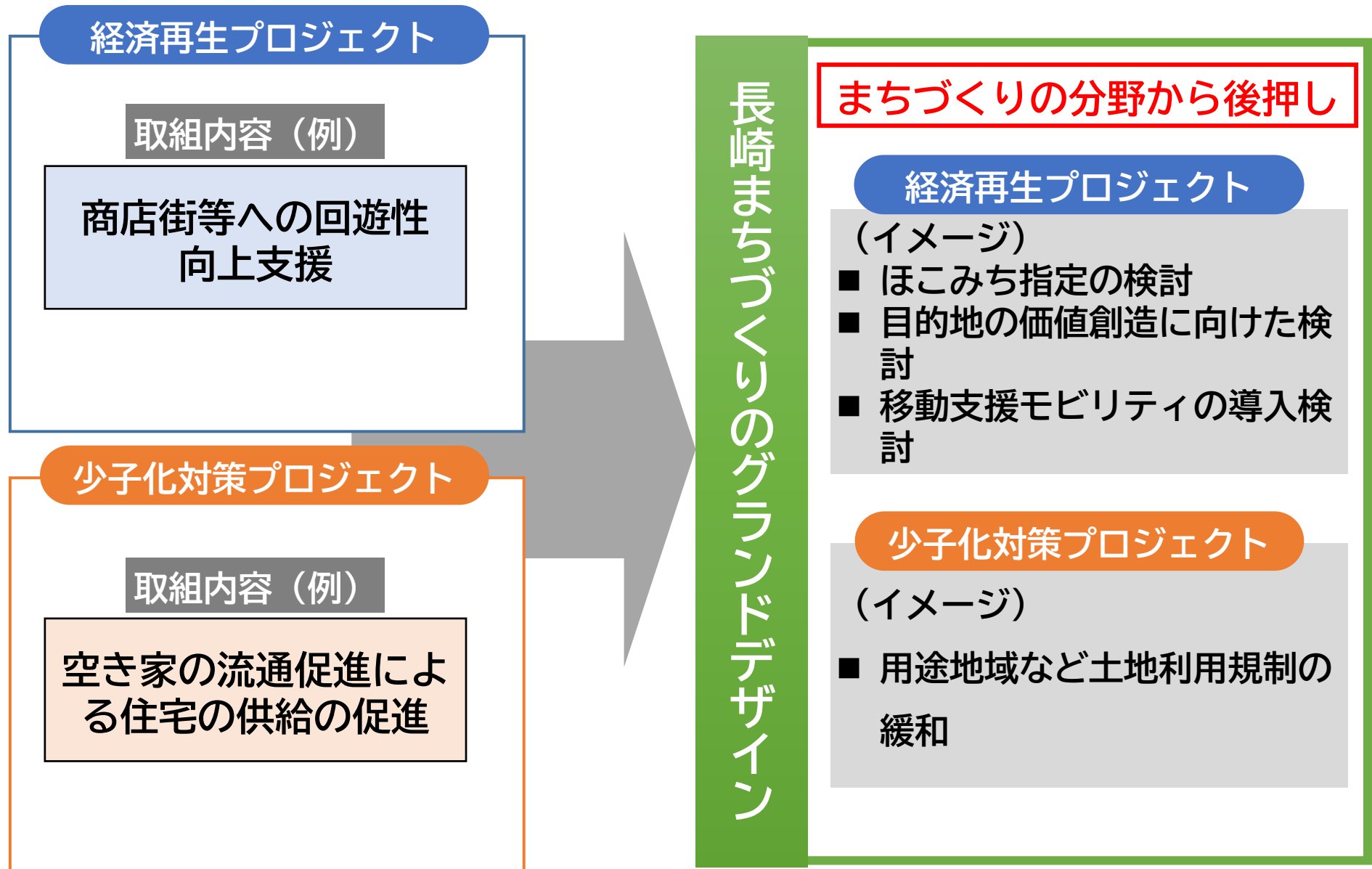


#### 少子化対策プロジェクト（抜粋）

重点テーマ	取組項目	取組方針	取組内容
A 長崎市で子どもを持つ希望を叶える	A 1 結婚したい人を後押しする取組み	交際・結婚支援	交際や結婚希望者に対する支援の強化（ <u>出会いの場の創出</u> ）
	A 2・B 1 子育てしやすい環境・雰囲気づくり	民間企業等と連携した環境づくり	<u>民間と連携した子どもの遊び場の確保</u> （子育て家庭等に喜ばれる公園等）
B 長崎市を選んでもらう・住んでもらう	A 4・B 4 若い世代・子育て世帯への住まいの支援	住まいの支援	市街化調整区域における開発許可基準の見直しによる <u>住宅用地の供給の促進</u>
			住みよかプロジェクト協力認定制度（民間連携手法）を用いた <u>住宅に関する地域課題の解決</u>
			住みよかプロジェクト協力認定制度（民間連携手法）を用いた <u>空き家の流通促進による住宅の供給の促進</u>
			若い世代・子育て世帯に向けた <u>住まいに関する相談支援</u>
			市営住宅余剰地を活用した <u>若い世代・子育て世帯に向けた住宅の供給の促進</u>
			市営住宅を活用した <u>子育て世帯に向けた住戸改修</u>
			市営住宅を活用した <u>子育て世帯に向けた住環境の整備</u>



## (2) グランドデザインとアクションプランの関係性



## 【第1部】

- 1 第2回検討委員会の振り返り
- 2 グランドデザインのアウトプット(イメージ)
- 3 長崎市重点プロジェクトアクションプランとの関係性

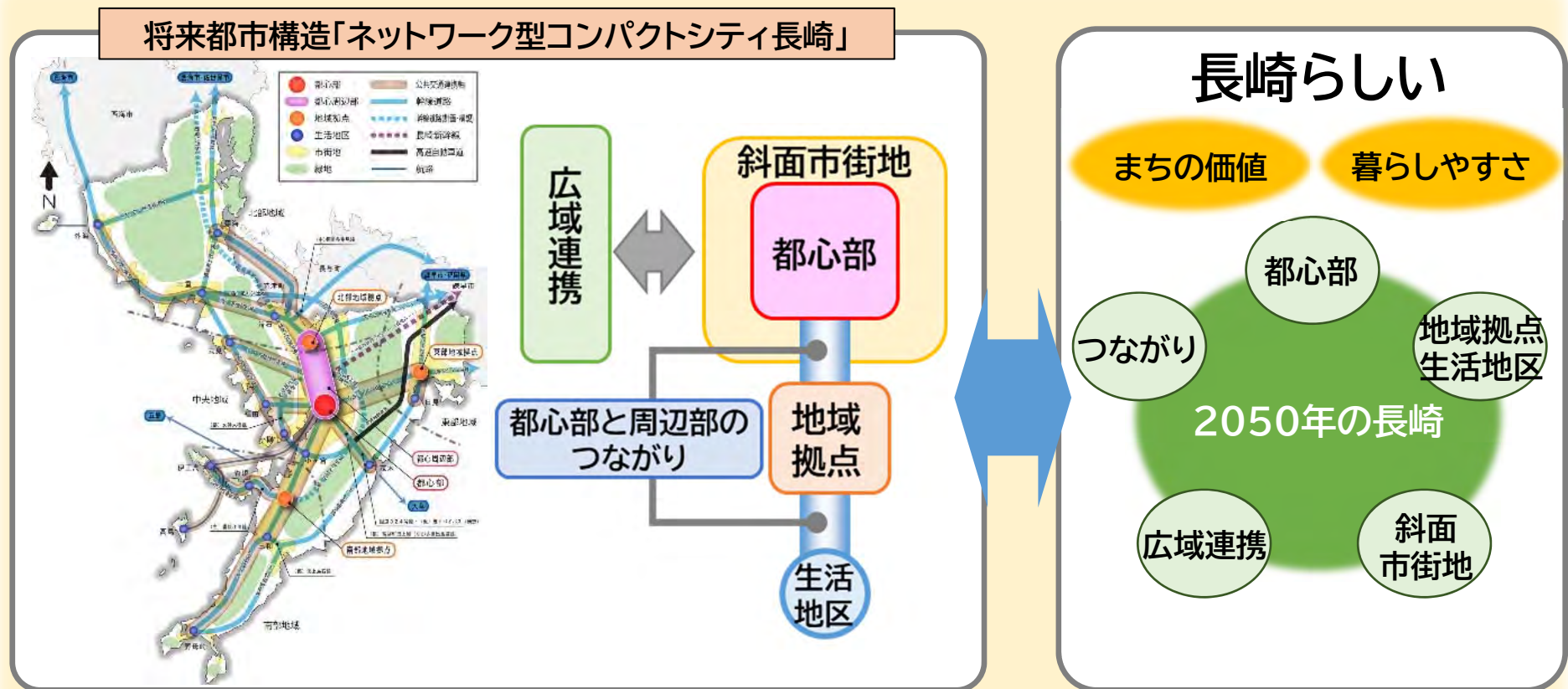
## 【第2部】

- 4 まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案)
  - (1) グランドデザインにおけるまちづくりの理念(考え方)
  - (2) 現状整理
  - (3) 現状整理・市民が望むまちの姿から見る長崎のポテンシャル
  - (4) まちづくりの理念(全体)(案)
  - (5) まちづくりの理念(テーマ別)(案)
- 5 まちづくりの方針(案)
- 6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)
- 7 今後のスケジュール

## (1) グランドデザインにおけるまちづくりの理念(考え方)

経済再生・定住促進を実現するためには、

**長崎ならではの魅力や価値**を提供する必要がある





## 4 まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案)

26

### (2) 現状整理

#### A 都心部

##### 概況

- 陸・海の玄関口
- 沿革・歴史を代表
- 多くの観光客訪問
- 国際色豊か
- 100年に一度のまちづくり

##### 現状分析(第2回委員会)

- 都市機能等がコンパクトに集積
- 商業業務系建物の減少
- 歩行者通行量減、空き店舗増

##### 委員

- 回遊・出会いの創出に親和性がある
- チャレンジしやすい環境

##### 市民

- 歩いて楽しく、雰囲気の良い店が多い
- 色々な人との出会いがある

#### B 地域拠点・生活地区

##### 概況

- 北部・南部・東部の拠点
- 将来も都心部等を補完するサービスを担う地域

##### 現状分析(第2回委員会)

- 生活サービス関連事業所の減少
- 地域拠点には、周辺地区の生活を支える都市機能が集積

##### 市民

- 車がないと生活しづらい
- 地元店が無くなり、買い物が大変
- 遊び場や交流できる場が少ない
- ニーズを反映できていない公園が多い
- 美しい自然や観光資源を活かしきれていない

##### 概況

- 豊かな自然環境
- 世界遺産構成資産の点在
- 将来も都心部や地域拠点と連携を図る地区

#### C 斜面市街地

##### 概況

- 坂のまちながさを象徴
- 眺望や日当たりの良さ、静謐な環境

##### 現状分析(第2回委員会)

- 多くの空き家が存在
- 高齢者世帯が居住が多い
- 平坦地と比べ地価が安い

##### 委員

- 静謐な環境は子育てに適している

##### 市民

- とにかく移動が大変
- 若者が住みたがらない

#### D 広域連携

##### 概況

- 西九州新幹線開業
- 広域幹線道路網の整備
- 近隣都市への半導体関連企業集積

##### 現状分析(第2回委員会)

- 長崎市から諫早市への通勤者は増加傾向

##### 市民

- 半導体企業集積を踏まえた土地利用・都市基盤整備が必要

#### E 都心部と周辺部のつながり

##### 概況

- 放射環状型幹線道路網の整備推進
- 公共交通機関の利便性が高い
- 市内全域で光回線が利用可能

##### 現状分析(第2回委員会)

- 依然として主要交通渋滞箇所が多い
- 路線バスの減便や路線廃止

##### 市民

- 通勤・通学時間帯を中心に慢性的な交通渋滞
- 都心部や近隣都市とのつながりが弱い

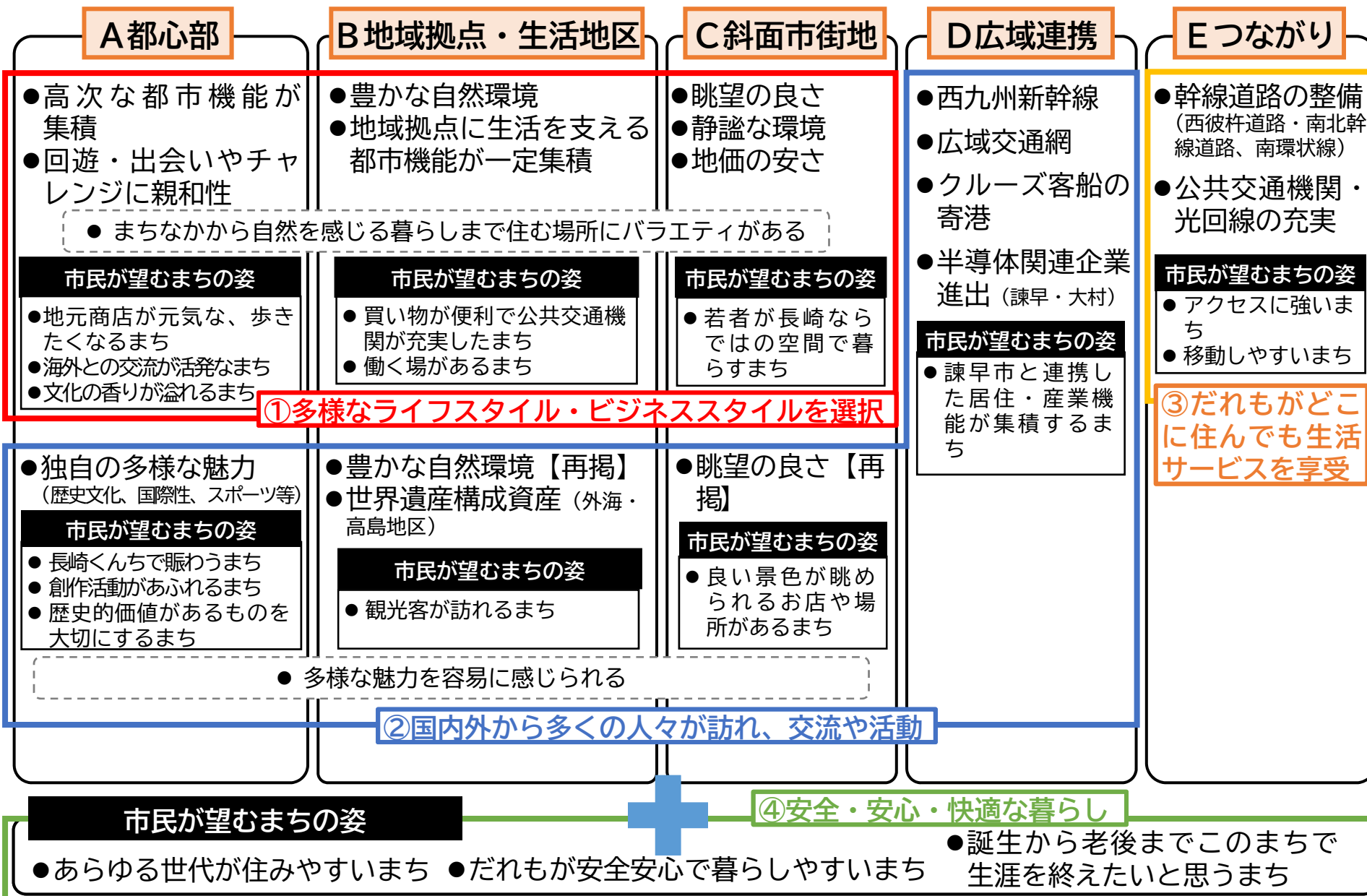
- 住む場所にバラエティがある(まちなか、自然暮らし等)
- 多様な魅力を容易に味わえる



## 4 まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案)

27

### (3) 現状整理・市民が望むまちの姿から見る長崎のポテンシャル



### (4) まちづくりの理念(全体)(案)

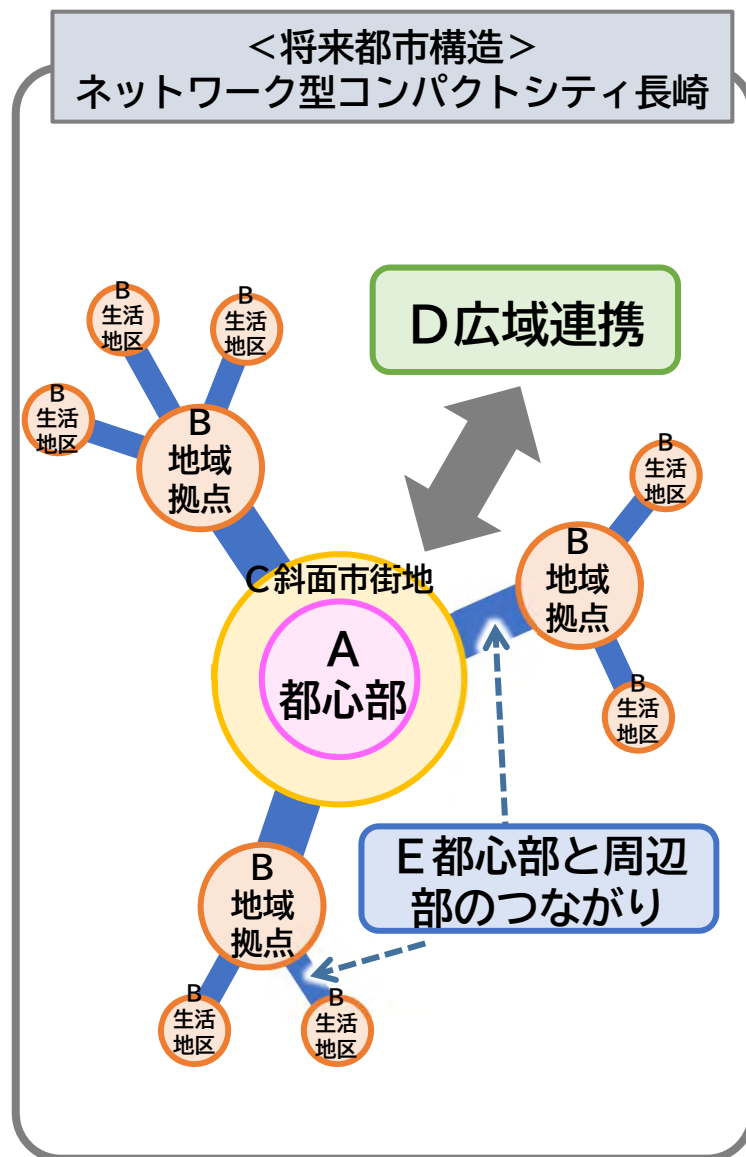
多様な魅力が多くの人・企業をひきつけ、長崎独自の暮らし方や過ごし方(ライフスタイル・ビジネススタイル)を選択でき、だれもが安全・安心に暮らせる長崎づくり

#### 現状整理・市民が望むまちの姿から見る長崎のポテンシャル

- ① まちなか・海・山・斜面地暮らしなど、思い思いに多様なライフスタイル・ビジネススタイルを選択できる
- ② 歴史・文化や国際性、スポーツ、豊かな自然環境など、長崎ならではの多様な魅力があり、国内外から多くの人々が訪れ、交流や活動ができる
- ③ 天然のコンパクトシティとして、多様な魅力や都市機能がコンパクトに集まり、各拠点がネットワークで結ばれ、だれもがどこに住んでも生活サービスを享受できる
- ④ だれもが安全・安心・快適な暮らしができる



## (5) まちづくりの理念(テーマ別)(案)



エリア

### A 都心部

人、企業、投資を呼び込む求心力の核となるエリアづくり

### B 地域拠点・生活地区

豊かな自然などの魅力を感じ、地域ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

### C 斜面市街地

眺望の良さや静かな環境などの魅力を感じ、斜面地ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

### D 広域連携

広域で連携しながら、観光客や働く人、住む人を呼び込むネットワークづくり

### E 都心部と周辺部のつながり

だれもが円滑に移動でき、どこに住んでも十分な生活サービスが受けられるネットワークづくり

ネットワーク



## 【第1部】

- 1 第2回検討委員会の振り返り
- 2 グランドデザインのアウットプット(イメージ)
- 3 長崎市重点プロジェクトアクションプランとの関係性

## 【第2部】

- 4 まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案)
- 5 まちづくりの方針(案)
- 6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)
- 7 今後のスケジュール



## 5 まちづくりの方針(案)

31

A都心部

まちづくりの理念(案)

人、企業、投資を呼び込む求心力の核となるエリアづくり

現状・問題点

ポジティブ

ネガティブ

まちづくりの方針(案)

現状分析

市 民

委 員

歴史・文化等の  
多様な資源がコ  
ンパクトに集積

臨海部を中心に  
100年に一度のま  
ちづくり

浜町に行かなくなった

特にまちなか（浜  
町）の歩行者通行  
量が減少

まちなかの空き  
店舗の増加

観光と暮らしの間には  
クリエイティブ（創造  
性）がはまりやすい

商業業務系建物  
の減少

低未利用地の駐  
車場への転換

臨海部で買い物が完結

【人流データ】

長崎駅周辺は滞在割合（活動量）が増  
加し、浜町周辺は減少（参考31ページ）

魅力的な回遊動線や交通結節機能が  
不足

歩きにくい、休憩場所  
や街路樹が少ない

お店を楽しみながら歩  
ける環境があると良い

交流を生み出す空間や多様な活動を  
受け入れる空間が不足

・人が気軽に集う場所  
がない

・芸術等を共有・披露  
する場、若者が遊ぶ  
場等が不足

・意図的に出会いをつ  
くる  
・人材を集め、交流を  
仕掛ける  
・用途を掛け合わせた  
場所  
・チャレンジの後押し

人、企業、投資を  
呼び込む価値の創造

人中心の歩いて楽しい  
都市空間の創出

交流の創出や  
多様な活動の実現



## 5 まちづくりの方針(案)

32

### B 地域拠点・生活地区

### まちづくりの理念 (案)

豊かな自然などの魅力を感じ、地域ならではの  
暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

### 現状・問題点

ポジティブ

ネガティブ

### まちづくりの方針 (案)

#### 現状分析

#### 市 民

【人流データ】  
地域拠点で一定の生活サービスを楽しむ  
(参考38～40ページ)

生活サービス事業所の減少

都市計画区域内の1人当り都市公園面積  
は基準以上

公共施設の再編が進められている

路線バスの減便・廃止

県内への主な転出理由は「居住環境」

空き家の増加

総合科学大学の新学部設置

市内全域で光回線が利用可能

豊かな自然や世界遺産構成資産点在

身近な場所の店が無くなり買い物が大変

遊び場が少ない、ニーズを反映できていない公園が多い

廃校舎等の既存ストック活用が課題

車がないと生活しづらい  
都心部と生活地区のアクセスが弱い

交流できる場が少ない

若者が住みたいと思う住宅が少ない

空き家バンクが活用されていない

テレワークなど多様な働き方ができる環境整備を求める意見が多い

自然や観光資源を活かしきれていない

日常生活の利便性の確保

魅力ある暮らし方  
・ 過ごし方の提供

豊かな自然など  
地区の魅力の活用



## 5 まちづくりの方針(案)

33

### C斜面市街地

### まちづくりの理念(案)

眺望の良さや静かな環境などの魅力を感じ、  
斜面地ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

#### 現状・問題点

ポジティブ

ネガティブ

#### 現状分析

#### 市 民

#### 委 員

車が入らない道や坂道・  
階段道が多い

- とにかく移動が大変
- まちに降りないと買い物できない
- 災害時の高齢者の避難が課題

高齢者の生活支援をする  
視点も重要

空き家の約6割が斜面地に  
存在

- 空き家はあるが住む場所がない
- 若者が住みたがらない

車が通らない道では空き  
家活用も限界

平坦地と比べ地価が安い

- 眺望が素晴らしい
- 静かな環境

静謐な環境は子育てに適  
している

斜面地からの景色を眺め  
られる素敵なお店もある

斜面地からの景色は観光  
資源として活用できる

#### まちづくりの方針(案)

日常生活の利便性の確保

安全で暮らしやすい場所  
での斜面地住まいの推進

斜面地ならではの  
魅力の活用

### D広域連携

#### まちづくりの理念(案)

広域で連携しながら、観光客や働く人、住む人を  
呼び込むネットワークづくり

#### 現状・問題点

ポジティブ

ネガティブ

#### 現状分析

#### 市 民

西九州新幹線の開業

広域幹線道路網の整備  
(西彼杵道路・長崎南北幹線道路、長崎南環状線)

クルーズ客船寄港数の回復

九州MaaSの運用開始

近隣都市への半導体関連企業集積

長崎市から諫早市への通勤者は増加傾向

【人流】  
諫早市通勤者の主な勤務エリアは「諫早  
インターチェンジ南側工業団地」(参考25  
ページ)半導体企業集積を踏まえた土地利用・都  
市基盤整備が必要

働く場がない

#### まちづくりの方針(案)

広域ネットワークの  
形成・活用

産業機能の増進

居住機能の増進



## 5 まちづくりの方針(案)

35

### E 都心部と周辺部のつながり

#### まちづくりの理念 (案)

だれもが円滑に移動でき、どこに住んでも十分な生活サービス  
が受けられるネットワークづくり

#### 現状・問題点

ポジティブ

ネガティブ

#### まちづくりの方針 (案)

#### 現状分析

#### 市 民

広域幹線道路網等の整備  
(西彼杵道路・長崎南北幹線道路、長崎南環状線)

慢性的な交通渋滞

交通渋滞で外出を控える

路線バスの減便・路線廃止

都心部と生活地区のつながりが弱い

公共交通の減便が続き不便

円滑な移動を支える道  
路・交通ネットワーク  
の形成

だれもが快適に  
移動できる手段の提供



テーマ		まちづくりの方針（案）
A	都心部	人、企業、投資を呼び込む価値の創造
		人中心の歩いて楽しい都市空間の創出
		交流の創出や多様な活動の実現
B	地域拠点 生活地区	日常生活の利便性の確保
		魅力ある暮らし方・過ごし方の提供
		豊かな自然など地区の魅力の活用
C	斜面市街地	日常生活の利便性の確保
		安全で暮らしやすい場所での斜面地住まいの推進
		斜面地ならではの魅力の活用
D	広域連携	広域ネットワークの形成・活用
		産業機能の増進
		居住機能の増進
E	都心部と周辺部の つながり	円滑な移動を支える道路・交通ネットワークの形成
		だれもが快適に移動できる手段の提供

### 各テーマに取り組むうえで持つべき共通の視点

DX等、最新技術の  
積極的な活用

多様な主体の  
緊密な連携

多様な移動手段を  
シームレスにつなぐ

まちづくりGX  
の推進



## 【第1部】

- 1 第2回検討委員会の振り返り
- 2 グランドデザインのアウットプット(イメージ)
- 3 長崎市重点プロジェクトアクションプランとの関係性

## 【第2部】

- 4 まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案)
- 5 まちづくりの方針(案)
- 6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)
- 7 今後のスケジュール



## 6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)

38

A都心部

まちづくりの理念(案)

人、企業、投資を呼び込む求心力の核となるエリアづくり

まちづくりの方針(案)

取組みの方向性(たたき台)

人、企業、投資を  
呼び込む価値の創造

- エリアの価値創造に寄与する拠点機能の確保
- 公共空間等を活用したエリア価値創造の取組推進

人中心の歩いて楽しい  
都市空間の創出

- 人中心の安全・安心・快適な道路空間の創出
- 回遊の支援
- 回遊動線と連携した沿道空間の魅力向上

交流の創出や  
多様な活動の実現

- 交流創出や多様な活動を実現する場の確保
- 民有地のオープンスペース等と連携した賑わい向上

## A都心部

### <他都市の事例>

#### 人、企業、投資を呼び込む価値の創造

##### <事例> 文化芸術を活用した都市の価値や魅力創出 (神奈川県横浜市)

芸術や文化のもつ創造性をまちづくりに活かすことで、都市の新しい価値や魅力を生み出す「**創造都市施策※**」を展開

※文化芸術と創造性をまちづくりに活かすことで、「市民の活力を引き出す」「都市の新しい魅力をつくりだす」「産業を育む」ことを理念とする施策

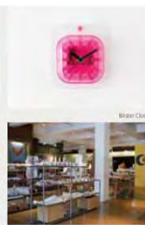
**創造界隈拠点** (歴史的建造物や公共空間等を活用し、創造的な活動を発信)



##### 様々なアートプロジェクト (街にアートを広げる)



##### 創造的ビジネス・コーディネート (様々な産業とクリエイターの創造性をかけ 合わせ、新たなビジネス機会を創出)



(出典) 文化芸術創造都市・横浜【横浜市】

##### <事例> 伝統工芸を活用した創造都市推進 (石川県金沢市)

金沢の繊細かつ多彩な工芸は、クラフト分野で創造都市※に認定。官民連携により「創造都市推進プログラム」を策定し、①文化のビジネス化、②人材の育成、③世界への発信という観点から創造都市を推進している。

※地域固有の文化が付加価値の高い産業を促し、そのことがさらに新しい文化への刺激や投資にもつながって、市民の生活を豊かに暮らしの質を高めている、いわば「創造的な文化活動と革新的な産業活動の連環によって、まちを元気にしている都市」

**金沢未来のまち創造館** (新たなビジネスを展開する者や食・工芸に付加価値を生み出すものを支援)



価値創造拠点 (仮称)

旧小学校舎

2021年春  
供用開始予定

##### KOGEI フェスタ (工芸を見て・触れて・体験する機会を創出)



(出典) ユネスコ創造都市としての取組、ユネスコ創造都市金沢モニタリングレポート【金沢市】



## A都心部

### <他都市の事例>

#### 人中心の歩いて楽しい都市空間の創出

##### <事例> 歩行者利便増進道路制度（ほこみち） （大垣駅通り（岐阜県大垣市））

ほこみち指定区域内で新たに年間を通じた定期的イベントが開催されるなど、公共空間の活用により、新たな賑わいのきっかけを創出した事例。

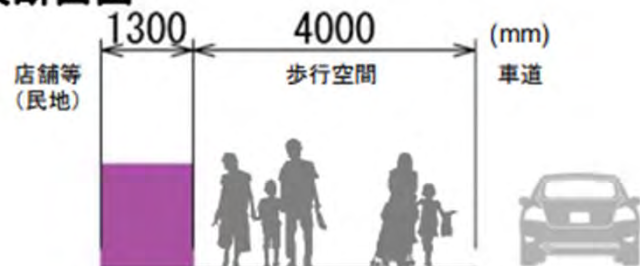


出典：岐阜県提供



出典：岐阜県提供

#### ○横断面図



（出典）ほこみちのとりくみ【国土交通省】

##### <事例> 歩いて楽しい道路空間創出事業 （ハレマチ通り（岡山県岡山市））

岡山駅周辺の大型商業施設の効果を中心市街地全体に波及するため、駅周辺エリアと旧城下町エリアを結ぶハレまち通りにおいて、賑わいの創出や回遊性の向上の観点から、ハード施策・ソフト施策の両軸から事業を推進

ハード施策：道路空間の再構築（2車線一方通行の車道を1車線化し歩道拡幅）  
ソフト施策：官民連携によるハレまち通りの魅力づくり



再整備前



再整備後

（出典）多様なニーズに応える道路の事例集【国土交通省】

#### 滞在を促すテーブル付きのベンチの設置



#### 沿道低未利用地と歩道を活用したマーケットの開催



（出典）ハレまち通り（旧：県庁通り）再整備における事業効果について【岡山市】

## A都心部

### <他都市の事例>

### 交流の創出や多様な活動の実現

#### <事例> 富山グランドプラザ（富山県富山市）

再開発と連携した“まちなか賑わい広場”の創出と運営の事例。人が集まる空間の設えの工夫として、全天候型の多目的広場とし、イベント等の支障とならないよう**固定物**（ベンチ、樹木等）**を設置せず**、**植栽はモバイルグリーン**（大型植木鉢）を採用している。

#### 中心市街地活性化事業（グランドプラザ）

**年間100件以上のイベント**が開催

グランドプラザ利用状況

グランドプラザでは、年間100以上の各種イベントが開催されており、休日には多くの人で賑わっています。また平日は、ゆったりとした時間が流れ、会話を楽しむ人や読書をする人など、憩いの場として利用され、生活の質の向上に繋がっています。



年間100件以上のイベントが開催される広場空間  
（出典）居心地が良く歩きたくなるグランドレベルデザイン【国土交通省】

**モバイルグリーン**（移動式植え込み樹木）



（出典）岐阜市行政視察資料【岐阜市】

（出典）富山市都市再生整備事業の概要【富山市】

#### <事例> 富山城址公園トライアル・サウンディング（富山県富山市）

公園利用の低迷と維持管理費に対するパフォーマンスの低さが課題であった城址公園における、**トライアル・サウンディング**の実施を踏まえたパークマネジメントの推進

トライアル・サウンディングとは

民間事業者を検討対象となる公共施設を暫定的に使用してもらい、提案事業を試験的に実施する機会を提供することで、より現実に即したデータや意見を得ることができるサウンディング手法

#### トライアル・サウンディング実施前後の状況



（出典）富山市PPPプラットフォームの取り組みと官民対話について【富山市】



## A都心部

### <他都市の事例>

#### 交流の創出や多様な活動の実現

##### <事例> 別院仲通り地区（富山県富山市）

コインパーキングの一面に人工芝や植栽、ベンチを設置し、ワークショップの開催などにより交流を創出した事例



コインパーキングを活用したひろば空間の創出（別院仲通り地区）

（出典）富山市都市再生整備事業の概要【富山市】

##### <事例> わいわいコンテナ（佐賀県佐賀市）

市が低未利用地を借用し、芝生に置き換え、中古コンテナを使った雑誌図書館や交流スペース、チャレンジショップを設置し、交流促進とまちなかの回遊性の創出を促す社会実験



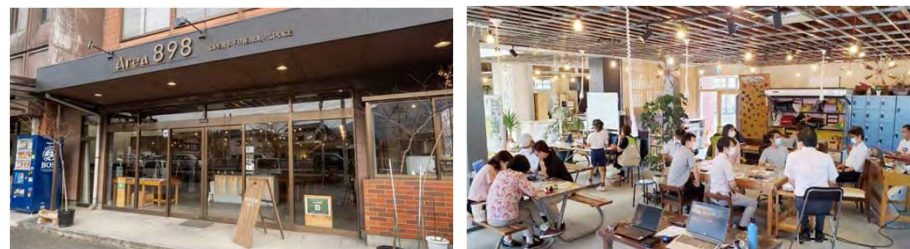
（出典）低未利用空間の暫定活用について【国土交通省】

##### <事例> チャレンジする人を応援するまちづくり（埼玉県横瀬町）

チャレンジする町、チャレンジする人を応援するまちづくりを推進。官民連携プラットフォーム「よこらぼ」※やJA旧直売所跡地を活用したコミュニティスペース整備など、チャレンジが生まれる環境整備に取り組む。

※企業・団体・個人を問わず、社会性のあるプロジェクトを行政と協働して行いたい者に対して、町が支援する仕組み

#### JA旧直売所跡地を活用したコミュニティスペース Area 898（町民と横瀬町に関わる人たちが交わる交差点）



（出典）横瀬町ホームページ

（出典）令和4年度ふるさとづくり大賞事例集【総務省】

社会で活躍し、チャレンジする学生が自分を紹介するプレゼンイベントや大手電機メーカーとPC・3Dプリンタ・カメラなどを使った学生向けイベントを実施



（出典）令和元年度「関係人口創出・拡大事業」モデル事業成果報告会資料【総務省】

## A都心部

## <他都市の事例>

### 交流の創出や多様な活動の実現

#### <事例> 民間コワーキングスペースを活用した中高生の居場所の提供（宮崎県宮崎市）

不登校やいじめ、虐待、ヤングケアラーなど、子どもたちを取り巻く課題は複雑になっており、中高生が自分らしくいられる居場所づくりがこれまで以上に求められる中、中高生がそれぞれ自分に合った過ごし方を見つけ、多世代の人との交流を通して自己肯定感や社会性を育むため、民間事業者のコワーキングスペースを活用して中高生向けの居場所を提供。



施設内の様子。ひとりでも友達とでも利用できます。



WiFiや電源も完備。飲食OK（持ち込み可）



進路相談と面接対策イベントを開催！元人事担当のプロや学生サポート経験豊富なスタッフが親身になってアドバイスします。履歴書の書き方や面接練習から将来に向けての相談程度でもOKです！これからの手がかりをぜひ掴んでください。参加無料、今すぐ事前申込みを！

（出典）民間コワーキングスペースを活用し、中高生の居場所を提供します、民間施設を活用した中高生の居場所づくり事業業務委託公募型プロポーザル実施要領【宮崎市】

### 共通

#### <事例> アーバンデザインセンター大宮（UDCO）（埼玉県さいたま市）

「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」（2010）で掲げるビジョンの実現に向けて設置されたアーバンデザインセンター※。大宮の可能性を引き出し、魅力的な都市環境を再構築することがねらい。「まちラボおおみや」を活動拠点に様々なプロジェクトを進めている。H29.10には都市再生推進法人に指定。

※課題解決型＝未来創造型まちづくりのための公・民・学連携のプラットフォーム

#### UDCOの代表的な取組み

##### 1. 学習・研究・提案

- ・多くの主体がまちづくりに係わる機会創出
- ・学習・研究・提案に加え人材育成

##### 2. 実証実験・事業創出

- ・公共空間・オープンスペース利活用推進
- ・ストック最大活用、まちの魅力や価値向上

##### 3. デザインマネジメント

- ・質の高い空間デザイン提案

##### 4. エリアマネジメント

- ・地域と連携したエリアマネジメント

#### おおみやストリートテラス （沿道一体利用の仕組みづくりと実践）



#### ストリートプランツプロジェクト （植木生産者、商店街、民間企業の協働体制による公民連携の都市緑化プロジェクト）



（出典）官民連携まちづくりポータルサイト（都市再生推進法人一覧）【国土交通省】





## 6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)

44

### B 地域拠点・生活地区

### まちづくりの理念（案）

豊かな自然などの魅力を感じ、地域ならではの  
暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

### まちづくりの方針（案）

### 取組みの方向性（たたき台）

#### 日常生活の利便性の確保

- 公共交通の利便性と外出手段の確保
- 生活サービスを受けやすい環境整備
- 魅力ある遊び場の確保
- 既存ストック等の活用による交流創出

#### 魅力ある暮らし方 ・ 過ごし方の提供

- 若者・子育て世代に魅力ある住宅の確保
- だれもが安心して住まいを確保できる環境整備
- 多様な働き方を実現する環境整備

#### 豊かな自然など 地区の魅力の活用

- 地区の魅力を味わえる環境整備
- 地区の魅力を活用した取組支援

## B 地域拠点・生活地区

### <他都市の事例>

#### 日常生活の利便性の確保

(公共交通、物流、買い物、交流)

#### <事例> 交通結節点を活用した食品アクセスの確保 (北海道帯広市)

デマンドバス停留所を、「**ローカルハブ**」として整備し、**路線バスを活用した貨客混載**を実施。商品をローカルハブへ輸送・販売し、その場にはない商品は、ローカルハブへ輸送、受取可能な仕組みも構築。**移動販売車の拠点としても活用**し、利便性向上や賑わい創出に取り組む。



(出典) 地域交通共創モデル実証プロジェクト【国土交通省】

#### 日常生活の利便性の確保

(既存ストック活用(廃校舎)、土地利用)

#### <事例> 住宅団地の再生事例 (愛知県春日井市高蔵寺ニュータウン)

小学校の統合で生まれた**旧小学校跡を利活用**するため、**用途地域を変更**(住居専用地域→第一種住居地域)し、多世代交流拠点を整備や、日用品販売店舗等の整備を図り、生活利便性を高める取り組み。

- ①旧藤山台東小学校跡では、多世代交流拠点施設「高蔵寺まなびと交流センター」(事務所、図書館、児童館、コミュニティカフェ、地域包括支援センター、子育て支援施設、会議室、体育館)を整備(用途変更)し、平成30年4月より開所。



旧藤山台東小学校施設

- ②指定されていた住居専用地域では事務所や店舗の立地は制限されているため、第一種住居地域に変更し、制限を緩和。(平成29年11月)



(出典) 住宅団地の再生に向けた施策展開【国土交通省】



## B 地域拠点・生活地区

### <他都市の事例>

#### 日常生活の利便性の確保 (公園)

#### <事例> 民間活力を活用し魅力ある公園を整備した事例 (大分県別府市)

これまで長い間手つかずとなっていた春木川公園において、別府市における新たな価値の創造や社会的課題の解決を基本方針とし、公募設置管理制度(Park-PFI)等を活用し公園全体を整備・管理運営した事例。西エリアの一部は、立体都市公園制度を活用し施設整備を行っている。



#### <配置施設>

2階：ジュニアサッカーコート クラブハウス 駐車場  
1階：スーパー 駐車場

(出典) 春木川公園整備運営事業【別府市】

#### <事例> 魅力的な公園の整備事例 (東京都練馬区)

「自然×冒険×交流」をコンセプトとして、樹林地や農地など、練馬に昔からあるみどりを活かしてつくられてた公園。既成の遊具はほとんどなく、専門スタッフが手作りした木製遊具、バケツやスコップ、ロープなどの道具、木の実や土、水といった自然の素材を使い、子どもたちが思い思いに遊ぶを作り出している。



(出典) こどもの森【練馬区】

## B 地域拠点・生活地区

### <他都市の事例>

#### 日常生活の利便性の確保

(公園、地域コミュニティ)

#### <事例> 街区公園コミュニティガーデン事業 (富山市)

高齢者の外出機会や生きがいを創出するとともに、地域コミュニティの再生を図るため、街区公園にコミュニティガーデンを整備し、野菜の収穫などを通して地域コミュニティの再生を図る



地域住民で花や野菜を育てます



収穫の喜びを分かち合います



白銀町公園



南新町公園

(出典) 街区公園コミュニティガーデン事業【富山市】

#### 魅力ある暮らし方・過ごし方の提供

(既存ストック活用(住宅団地))

#### <事例> 二宮団地再編プロジェクト (神奈川県二宮町)

農村集落に隣接する団地で、自然や農業等に親しむ「さとやまライフ」を満喫できる。「働くために住む場所を選ぶ」のではなく、「暮らしを楽しみながら働く」というライフスタイルを選ぶ傾向を踏まえ、団地再編を実施。

#### セレクトリノベーション

全11のプランから選択できる賃貸住宅



B2タイプ

地域産材のフローリング材など、



A4タイプ

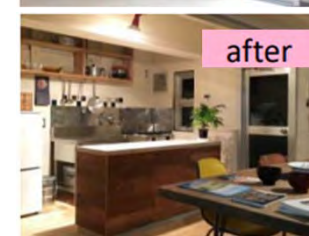
広く使える1Rプラン

#### セルフリノベーション

入居者自身で自由にリノベーション



before



after

#### 多様な住まい方に対応(入居資格の緩和)

##### 在宅ワーク

住居内でパソコン等を使用する、IT関連業務や執筆業など、個人事業主等の住まい方に対応

##### 二地域居住

本拠地は別にあり、週末に趣味の活動拠点、家族の介護などの住まい方に対応

##### プラスワン住戸

将来を考慮し、2戸分の面積が欲しい新婚夫婦や居住とは別のアトリエスペースなどのニーズに対応

(出典) 二宮団地再編プロジェクト概要【神奈川県住宅供給公社】



## B 地域拠点・生活地区

### <他都市の事例>

**魅力ある暮らし方・過ごし方の提供**  
(ネットワーク環境の充実、コワーキングスペース整備)

**<事例> ITアイランド推進計画**  
(大分県・大分県東国東郡姫島村)

製造業等の進出が厳しい離島である姫島村で、遠隔業務ができるIT関連企業の進出を促し、新しい雇用の場を創出するため、島内ネットワーク環境の充実化やコワーキングスペースの整備を行っている。また、島内でのIT関連イベント開催や首都圏等に向けた情報発信を行うとともに、地域経済牽引事業者による先進的なプロジェクト創出、ITによる教育・人材育成に取り組むことで、「ITアイランド」としてのブランディングを図っている。



姫島の全景



空きスペースを活用した  
コワーキングスペース

**豊かな自然など地区の魅力の活用**  
(既存ストック活用(空き家))

**<事例> 尾道市空き家等活用促進モデル事業(広島県尾道市)**

利活用可能な空き家等を「滞在体験施設」「交流施設」「体験学習施設」「創作活動施設または文化施設等」として活用し、地域活性化の核となる新しい拠点として広く発信し、交流人口の増加を図る目的で「尾道市空き家等活用促進モデル事業」を実施。

特産の柿をテーマにしたワークショップやカフェ等で年間を通じて観光客等を呼び込む柿渋工房として改修し、地域おこしを図る施設として活用



因島田熊町の空き家を、個人が出店できるチャレンジショップ、簡易宿泊施設、レンタルスペースに改修し、起業・創業を志す方々への支援をはじめとして、地域の賑わいの場となる施設として活用





## 6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)

49

### C斜面市街地

### まちづくりの理念（案）

眺望の良さや静かな環境などの魅力を感じ、  
斜面地ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

### まちづくりの方針（案）

### 取組みの方向性（たたき台）

#### 日常生活の利便性の確保

- 移動負担の軽減
- 生活サービスを受けやすい環境整備

#### 安全で暮らしやすい場所での斜面地住まいの推進

- 安全で暮らしやすい場所への居住誘導の推進
- 若者・子育て世代に魅力ある住宅の確保
- だれもが安心して住まいを確保できる環境整備

#### 斜面地ならではの 魅力の活用

- 斜面地ならではの魅力を味わせる仕組みづくり



## C 斜面市街地

### <他都市の事例>

#### 日常生活の利便性の確保

(空き地の複合的活用)

#### <事例>大宮プラット (さいたま市)

大宮プラットは、マルチモビリティステーションと飲食店や衣料品、雑貨販売などの商業機能が隣接する生活サービスの交流拠点。



テント出店



モビリティステーション

電動アシスト自転車やスクーターなどのモビリティステーション

移動販売車出店

休憩スペース

(出典) まちづくりにおける駐車場政策あり方検討会施設デザインWG資料を基に長崎市が一部加工【さいたま市】

#### 日常生活の利便性の確保

(既存ストック(空き地・空き家)、交流)

#### 斜面地ならではの魅力の活用

(来訪目的の創造)

#### <事例>北加賀屋みんなのうえん (大阪市住之江区)

空き地・空き家を活用し、住民をはじめ、アーティストやデザイナー、農業や食の専門家等を巻き込み、地域主体の農園づくりを展開。「農」や「食」をテーマにした勉強会やワークショップ等の学びの機会、BBQなどの交流、自分たちで企画を作るチャレンジの機会をつくり、参加者の主体性やチャレンジ機運醸成へ繋げている。



北加賀屋  
みんなのうえん  
一般社団法人グッドラック  
組織形態：一般社団法人  
<https://www.facebook.com/goodluckOsaka/>



(出典) 空き地等の新たな活用【国土交通省】

## C斜面市街地

### <他都市の事例>

### 安全で暮らしやすい場所での斜面地住まいの推進

(既存ストック(空き地・空き家等)の活用)

#### <事例>いこま空き家流通促進プラットホーム (生駒市)

売りたい・貸したいと考える人が多い一方、「**買い手が見つからない**」「**事業者の情報が欲しい**」といった声があることから、そのニーズに応えるため、不動産関連団体と市が**空き家流通促進に関する連携協定**を締結し、プラットホームを設立。

#### 3つの合わせ技が 全国初!

- 1 市が保有する貴重な**空き家情報をプラットホームに提供**します。
- 2 一つ一つの物件について**カルテを作成し、オーダーメイドで対応方針を提案**します。
- 3 プラットホームを中心に専門家が協力し、**流通促進に向けた具体的な支援**をワンストップで行います。

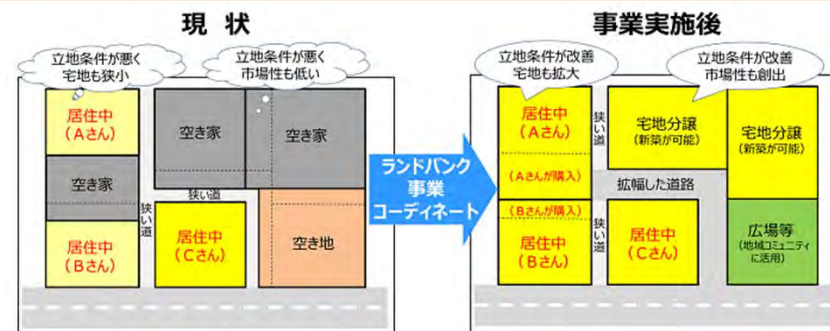


(出典) 全国初! いこま空き家流通促進プラットホームを設立【生駒市】

#### <事例>ランドバンク事業(広島県)

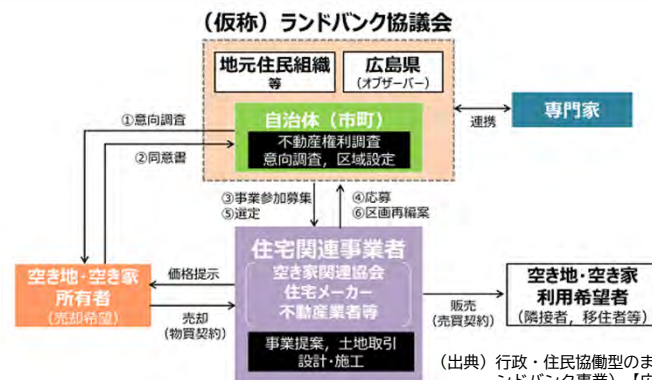
ランドバンク事業(小規模連鎖型区画再編事業)とは

空き地・空き家等の未利用ストックを、隣接地や前面道路を含め、**小規模区画再編を連鎖**させ、接道状況や土地形状の改善を図り、**市場性のあるストックを生み出す**事業。



#### 広島型ランドバンク事業スキーム

地元住民組織と自治体でランドバンク協議会を設置し、区画再編エリアの設定、整備方針の決定、関係者調整、事業者選定等を担い、再編エリアの土地買収、工事、再編後の土地販売を選定された住宅関連事業者(民間)が行う。



(出典) 行政・住民協働型のまちづくり(広島県ランドバンク事業)【広島県】



## 6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)

52

### D広域連携

#### まちづくりの理念（案）

広域で連携しながら、観光客や働く人、住む人を  
呼び込むネットワークづくり

#### まちづくりの方針（案）

#### 取組みの方向性（たたき台）

広域ネットワークの  
形成・活用

- 円滑な広域ネットワークの形成
- 広域ネットワークの活用や県内主要観光地・商業業務集積地との連携強化

産業機能の増進

- 産業集積等の動向や広域幹線道路網と連携した企業立地の受け皿の確保

居住機能の増進

- 産業集積等の動向や広域幹線道路網と連携した居住機能の確保



## D広域連携

## <他都市の事例>

### 広域ネットワークの形成・活用

(高規格幹線道路)

<事例> 高規格幹線道路の整備を契機とした  
交流人口の拡大(岩手県)



(出典) 第9回東北中央自動車道の利活用促進による地域活性化協議会【国土交通省山形河川国道事務所】

### 産業機能の増進

(企業立地用地)

<事例> 半導体関連企業の立地ニーズを踏まえた  
サウンディング型市場調査(熊本市)



令和6年(2024年)1月17日

### 産業用地整備に関するサウンディング型(対話型) 市場調査を実施します

産業用地に関する直近の動向等を的確に把握し、今後の施策の検討に活用  
することを目的としたサウンディング型(対話型)市場調査を実施します。

#### 1. 調査の目的

本市では、昨年1月に半導体関連産業の集積に向けた産業用地整備に関するサウンディング型(対話型)市場調査を実施し、その内容を踏まえ、本市と連携して産業用地の整備を行う民間事業者の公募を行い、現在、事業を進めているところです。  
前回の調査から1年が経過し、その間、複数の半導体関連企業が県内での新たな投資計画を公表するなど、立地ニーズがさらに高まっていることから、産業用地に関する直近の動向等を的確に把握し、今後の施策の検討に活用するため、再度、調査を実施します。

#### 2. 調査の参加対象者

- ・市内(県内)の産業用地に関する動向等に精通した開発事業者、金融機関等
- ・市内(県内)の産業用地整備計画を検討している開発事業者
- ・市内(県内)への立地を検討している企業

#### 3. 主な調査項目

- ・市内(県内)の産業用地に関する動向等
- ・産業用地の整備計画(予定を含む)
- ・本市が実施している産業用地整備事業に関する意見

#### 4. 調査スケジュール

- ・参加申込の受付及び調査票の回答締切: 令和6年(2024年)1月31日(水)
- ・サウンディング予定日: 調査票の回答日 ~ 令和6年(2024年)2月16日(金)

※ 詳細は市ホームページをご確認ください。

「産業用地整備に関するサウンディング型(対話型)市場調査を実施します」

[https://www.city.kumamoto.jp/hpkji/pub/Detail.aspx?c\\_id=5&id=52915](https://www.city.kumamoto.jp/hpkji/pub/Detail.aspx?c_id=5&id=52915)

(出典) 【報道資料】産業用地整備に関するサウンディング型(対話型)市場調査【熊本市】



## 6 まちづくりの取組みの方向性(たたき台)

54

### E 都心部と周辺部のつながり

#### まちづくりの理念（案）

だれもが円滑に移動でき、どこに住んでも十分な生活サービス  
が受けられるネットワークづくり

#### まちづくりの方針（案）

円滑な移動を支える道路・  
交通ネットワークの形成

だれもが快適に  
移動できる手段の提供

#### 取組みの方向性（たたき台）

- 放射環状型幹線道路網の構築と交通渋滞の解消
- 公共交通のスムーズな移動を支える環境づくり

- 多様な関係者の共創（連携・協働）による公共交通  
の維持・活性化
- 公共交通のDX推進
- 多様な移動手段の交通結節機能の向上



## E 都心部と周辺部のつながり <他都市の事例>

### 円滑な移動を支える 道路・交通ネットワークの形成

#### <事例> 岐阜市型 B R T (バス・ラピッド・トランジット) (岐阜県岐阜市)

「BRT」とは、連節バス、PTPS（公共車両優先システム）、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで、**速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能**となる高次の機能を備えたバスシステム。BRTの特徴を最大限に活かした岐阜市型 B R T 導入により、路線全体で利用者増加した。

##### B R T の特徴

1. 初期投資が安価⇒鉄軌道と比較して
2. 高い柔軟性⇒・施設の段階整備が可能  
・需要、都市構造の変化に応じたルート設定可能
3. 視認性⇒バスレーンのカラー化、連節バスで確保
4. 輸送力⇒連節バスは L R T に匹敵
5. 定時性の確保⇒バスレーン導入

##### B R T の特徴を最大限に活かす

##### 公共交通の魅力・情報発信力の向上

##### 路線全体の利用者数増加

岐阜大学・病院線路線全体で

平日1日の利用者数が約 **30%増加**

(H22年6月とH27年6月比較)



(出典) 岐阜市

### だれもが快適に移動できる手段の提供

#### <事例> 地元スーパー等の提供サービスと連動したAIデマンド交通による地域住民の外出機会の創出 (秋田県大館市)

AIオンデマンド交通 (mobi) を導入し冬期の移動手段を確保するとともに、市内スーパーマーケット事業者と連携した乗降場所やスーパーでの買い物時の追加サービスの提供を通じ、外出機会を創出。一人での外出が難しい高齢者等に対するmobiを活用した買い物の付添い支援の実証試験を実施し、効果を検証し、事業化の可能性を探る。



#### 2. 共創型交通「大館版mobiプロジェクト」

AIモビリティサービス「mobi」を活用した運行と市内事業者が連携し、それぞれが持つ専門性を最大限活用することで、地域交通の価値を向上させ、持続的な交通サービスの提供を図る。



(出典) 地域交通共創モデル実証プロジェクト (各地域における取組み事例 (令和4年度事業採択事例))  
【国土交通省】



修正有

## 7 今後のスケジュール

56

時期	内容	主な議題(予定)
令和6年 7月26日	第1回委員会	●グランドデザインの概要 ●検討の進め方
10月～11月	意見交換会	—
11月22日	第2回委員会	●目指すまちの状態(たたき台) ●取組みの考え方、課題(たたき台)
令和7年 2月18日 (本日)	第3回委員会	●まちづくりの理念(全体・テーマ別)(案) ●まちづくりの方針(案) ●まちづくりの取組みの方向性(たたき台)
5月頃	第4回委員会	●まちづくりの取組みの方向性(案) ●グランドデザイン(素案)
7月頃	説明会	●グランドデザイン(素案)
8月頃	パブリックコメント	
10月頃	第5回委員会	●グランドデザイン(案)
10月頃	策定・公表	—

※進捗状況により変更となる場合があります。